



JFPSP公開セミナー  
申込フォーム

## 日本精神分析的自己心理学協会 2023年度公開セミナー 第3回

# シリーズセミナー「社会の中の精神分析」 精神分析とコミュニティ

## 概要

[日時] 2024年2月25日(日) 9:30~16:00

[場所] Zoomによるオンライン開催

[参加費]

- (1) JFPSP正規訓練生…4,000円
- (2) NAPI会員…4,000円
- (3) 大学院生(修士課程)…4,500円
- (4) その他守秘義務を有する専門家…6,500円

[申込方法] 以下のHP内の申込フォームよりお願いします。

<http://jfpssp.net/OpenSeminar/2023.html>

\*本セミナーは「臨床心理士資格更新のためのポイント(1ポイント)」を承認されています。

## プログラム

午前の部 【シンポジウム】 9:30 - 12:30

シンポジスト①岩倉 拓(あざみ野心理オフィス)

「現場に馴染み、機能するために」

② 富樫 公一(甲南大学 / 栄橋心理相談室)

「コミュニティの中の治療者」

指定討論者 中西 和紀(あいせい紀年病院)

午後の部 【グループ・スーパーヴィジョン】 13:30 - 16:00

助言者 岩倉 拓

事例提供者 樋口 拓朗(東京大学大学院 / 呼及舎)

### 【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本精神分析的自己心理学協会 info@jfpssp.net  
〒651-0087 神戸市中央区御幸通6丁目1-31 フキ三宮ビル701

JFPSP  
一般社団法人 日本精神分析的自己心理学協会

社会の中で精神分析はいかに貢献できるだろうか。今回は、精神分析とコミュニティとの関係についてシンポジウム、グループ・スーパーヴィジョンを通して考えていきたい。

シンポジウムでは、あざみ野心理オフィスの岩倉氏に災害や重大事件の現場において心理職としてどのように環境を構築し、機能するか、そして力動的視点をどのように活かすかについてお話しいただく。続いて、甲南大学の富樫氏にコミュニティが私たちに与える影響と、そこでの臨床実践の意味についてお話しいただく。二人の話題提供を受けて、あいせい紀年病院の中西氏に指定討論をいただき、フロア全体で議論したい。

グループ・スーパーヴィジョンでは、障害者介護事業に携わる樋口氏からコミュニティ支援の実際を発表いただく。助言者は岩倉氏が、司会は富樫氏がそれぞれ担当する。本協会セミナー初の試みとして、心理職以外の援助専門職による事例提供となっている。他職種の実例を通して、深く新しい学びにつながると期待している。

### シンポジスト・助言者紹介

岩倉 拓(いわくら たく)

あざみ野心理オフィス主宰。臨床心理士、公認心理師、日本精神分析学会認定心理療法士。横浜国立大大学院教育学研究科修士課程修了。主著として、『パーソナリティ障害の精神分析的アプローチ』(共著・金剛出版)、『子どものこころの理解と援助』(共著・日本評論社)、『心理臨床家の成長』(共著・金剛出版)、『事例検討会のすすめ』(共著・岩崎学術出版社)、他多数。近著として、2023年9月『精神分析的サポーターティブセラピー(POST)入門』(共著・金剛出版)。

富樫 公一(とがし こういち)

甲南大学文学部教授。TRISP自己心理学研究所精神分析家、栄橋心理相談室精神分析家、NY州精神分析家、NAAP精神分析学会認定精神分析家、臨床心理士、公認心理師。博士(文学)。Psychoanalysis, Self and Context誌国際編集委員、Psychoanalytic Inquiry誌編集委員。2020年、NAAP精神分析協会グラディーヴァ賞(最優秀著作部門)受賞。2022年、日本精神分析学会学会出版賞(小此木賞)受賞。主著として、『精神分析が生まれるところ』『当事者としての治療者』(共に岩崎学術出版社)、『The Psychoanalytic Zero』(Routledge)、他多数。近著として、2023年11月『社会の中の治療者』(岩崎学術出版社)。